

1 地方創生推進交付金事業

(1) 交付金の概要

- ① 目的 地方公共団体による、それぞれの地域の実情に応じたまち・ひと・しごと創生に資する事業の効率的かつ効果的な実施を図る。
- ② 対象事業 (1)先駆性のある取組(先駆タイプ、5ヶ年度以内)
(2)先駆的・優良事例の横展開(横展開タイプ、3ヶ年度以内)
- ③ 手続 地方公共団体は、対象事業に係る地域再生計画(5ヶ年度以内)を作成し、内閣総理大臣が認定
- ④ 交付率 1/2
- ⑤ 国予算額 1,000億円(令和元年度予算額)

(2) 対象事業

○海辺の魅力づくりを通じた交流まちづくり推進事業

(当初計画)

事業目的	事業概要	平成28年度	29年度	30年度	備考
日本の渚百選「前原・横渚海岸」及び沿岸に形成された商店街などの周辺地域について、健康づくりといった新たな魅力づくりにより、従来の海水浴やサーフィンだけでなく、年間を通じて市内外からの家族連れを含めた多様な利活用を促進する。 これにより、本市まち・ひと・しごと創生総合戦略において基本認識として掲げる「交流」と「健やかさ」にあふれる地域を創造するための拠点として海辺の活用を図るとともに、海岸沿いに広がる中心市街地の賑わいを創出する。	本市中心市街地に隣接する前原・横渚海岸及び東条海岸一帯を中心に、安全で安心して海水浴を楽しむことができ、サーフィンなどのマリンスポーツやビーチスポーツ、ウォーキング、海釣り、ビーチセラピーをはじめとする多様なレクリエーション・健康づくりに家族等で気軽に親しむことができる魅力ある環境を整備し、鴨川市への入込客数を増加させる。 また、市民会館周辺地域は、民間事業者を主体とした「健康づくり」等の利活用を見据えた拠点施設となる(仮称)前原・横渚海岸ビジターセンターや(仮称)交流広場の整備も含めた、海辺のまちづくりに係る検討・検証等を行うとともに、既存商店街及び周辺地域における空き店舗等を活用しながら、海岸との回遊性を高め、商業機能の回復や中心市街地における移住・定住を支援する。	●前原・横渚海岸周辺利活用計画の策定	●前原・横渚海岸周辺の魅力づくり推進委員会の開催 ●マリンスポーツ等を中心とした多様なレクリエーション機会の提供 ●レクリエーション等の商品化の方向性及び拠点施設に求められる機能の検証 ●安全で安心な海水浴場の確保 ●空き店舗等物件情報の収集・整理	●前原・横渚海岸周辺の魅力づくり推進委員会の開催 ●マリンスポーツ等を中心とした多様なレクリエーション機会の提供 ●レクリエーション等の拠点施設の整備 ●安全で安心な海水浴場の確保 ●空き店舗等の情報提供及びチャレンジショップの開設支援	横展開タイプとして採択
事業費(千円)	(全体)47,264	9,800	18,832	18,632	

重要業績評価指標(KPI)	事業開始時	平成28年度	29年度	30年度	備考
前原海水浴場及び周辺サーフポイントにおける入込客数(人)	110,000	121,000	132,000	143,000	33,000増
海岸におけるレクリエーション参加者数(人)	0	0	300	600	600増
商店等として新たに活用された空き店舗数(件)	0	0	0	5	5増

(平成29年5月変更後の計画)

事業目的	事業概要	平成28年度	29年度	30年度	令和元年度	令和2年度	備考
日本の渚百選「前原・横渚海岸」周辺を基点として、アクティブシニアを対象とした「良質な日常の提供」というコンセプトのもと、地域全体におけるウェルネスリゾートを実現する。さらには、外房地域での東京オリンピックにおけるサーフィン競技開催を通じたサーフィンのまちとしての発信や、健康に関心の高い日本在住の外国人及び訪日外国人をターゲットにしたインバウンドの拡大を目指す。 また、同海岸周辺エリア全体の活性化により、観光客の消費額の増加や海岸沿いに広がる中心市街地の賑わい創出を図るとともに、同海岸を活用した健康づくりに関する体験プログラムの開発やウェルネスツーリズムの促進を一層図ることができれば、ブランドイメージ向上だけでなく、アクティブシニアを主な対象とする鴨川版CCRC構想の実現を含めた移住・定住を促す大きな要因になることから、これらを一体として実現していく。	合同会社鴨川市観光プラットフォーム(日本版DMO候補法人)を事業主体として、市内に立地する総合病院などと連携し、安心・安全な海岸環境のもと、サーフィンなどのマリンスポーツをはじめとする多様なレクリエーション・高付加価値な健康づくり活動などのコンテンツを、年間を通じて提供していく。これらの取組みと合わせ、同法人とともに、前原・横渚海岸及び東条海岸一帯を中心に、「良質な日常の提供」をコンセプトとした「WELLNESS BEACH(ウェルネスビーチ)」を形成する。 また、市民会館周辺地域は、エリア活性化の拠点施設として、民間資金も活用した(仮称)エリアマネジメントセンターや、海岸を活用したコンテンツ提供等を担う(仮称)魅力体験広場の整備も含めた、拠点機能の充実を図っていく。これらに合わせ、設置スペースに適したサイズ等の選択が可能で、人の流れにも柔軟に対応ができるテナンショップによる実証や既存商店街及び周辺地域における空き店舗等を活用したチャレンジショップの開設支援などを図っていく。	●前原・横渚海岸周辺利活用計画の策定	●前原・横渚海岸周辺の魅力づくり推進委員会の開催 ●拠点整備方針の具現化及びエリアマネジメント体制構築 ●マリンスポーツ等を中心とした多様なレクリエーション機会の提供 ●海辺における交流拠点空間整備に係る実証実験事業(コンテナハウス実証実験事業) ●安全で安心な海水浴場の確保 ●空き店舗等物件情報の収集・整理 ●DMO候補法人運営強化補助	●前原・横渚海岸周辺の魅力づくり推進委員会の開催 ●マリンスポーツ等を中心とした多様なレクリエーション機会の提供 ●海辺における交流拠点空間((仮称)魅力体験広場)等の整備 ●安全で安心な海水浴場の確保 ●空き店舗等の情報提供及びチャレンジショップの開設支援 ●民間参入業者の選定 ●プロジェクトマネジメント体制強化 ●DMO候補法人運営強化	●民間資金導入体制等構築 ●緑化等景観整備 ●空き店舗等の情報提供及びチャレンジショップの開設支援 ●プロモーション ●外国人観光客獲得に向けた調査 ●DMO候補法人運営強化 ●プロジェクトマネジメント体制構築 ●海辺における交流拠点空間等の整備	●エリアマネジメントセンター周辺の飲食・休憩施設整備 ●エリアマネジメント組織運営支援 ●プロジェクトマネジメント体制強化	先駆タイプとして採択
事業費(千円)	(全体)324,767	9,800	84,513	66,043	106,111	58,300	

重要業績評価指標(KPI)	事業開始時	平成28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	備考
前原海水浴場及び周辺サーフポイントにおける入込客数(人)	110,000	121,000	132,000	143,000	165,000	187,000	77,000増
海岸におけるレクリエーション参加者数(人)	0	0	300	800	1,800	2,800	2,800増
商店等として新たに活用された空き店舗数(件)	0	0	0	5	10	15	15増
観光消費額(百万円)	29,777	28,532	32,050	37,170	39,080	41,000	11,223増

(令和3年度事業)

令和3年度事業実績	計画額	実績額	うち交付金額	本事業における重要業績評価指標 (KPI)				本事業終了後における実績値		実績値を踏まえた事業の今後について	
	単位:円	単位:円	単位:円	指標	指標値	単位	目標年月	実績値	事業効果 (A~Dの4段階)	今後の方針	
<p>[エリアマネジメントセンター周辺の飲食・休憩施設整備費] 魅力体験広場を利用する方の利便性向上のため、敷地内に休憩施設を整備した。</p> <p>[鴨川市魅力体験広場活用事業] 魅力体験広場の更なる賑わい創出や周辺地域の活性化を目指すため、民間の資金や企画力などの企業資源を活用した当該広場の利活用事業に取り組んだ。</p>	0	30,250,000	15,125,000	指標①	前原海水浴場及び周辺サーフポイントにおける入込客数(人)	187,000	人	R2	46,408	<p>C: 地方創生に効果があった。</p> <p>[所見] 計画事業は予定通り実施した。</p>	<p>交付金事業は、予定通り事業終了。</p> <p>魅力体験広場に休憩施設を整備し、利用者の利便性向上を図った。また、民間活力を活用した当該広場の利活用事業に取り組んでおり、今後も引き続き、海辺エリアの活性化と海辺の魅力づくりを推進していく。</p>
				指標②	海岸におけるレクリエーション参加者数(人)	2,800	人	R3.3	0		
				指標③	商店等として新たに活用された空き店舗数	15	件	R2.3	1		
				指標④	観光消費額	41,000	百万円	R2	未定		
								<p>事業効果</p> <p>A: 地方創生に非常に効果的であった。</p> <p>B: 地方創生に相当程度効果があった。</p> <p>C: 地方創生に効果があった。</p> <p>D: 地方創生に効果がなかった。</p>	<p>今後の方針</p> <ul style="list-style-type: none"> ・追加等さらに発展させる ・事業内容の見直し(改善) ・事業の継続 ・事業の中止 ・予定通り事業終了 		

(令和2年度事業)

令和2年度事業実績	計画額	実績額	うち交付金額	本事業における重要業績評価指標 (KPI)				本事業終了後における実績値		実績値を踏まえた事業の今後について	
	単位:円	単位:円	単位:円	指標	指標値	単位	目標年月	実績値	事業効果 (A~Dの4段階)	今後の方針	
<p>[エリアマネジメント組織運営支援] フィッシャリーナ鴨川後背地において、施設の維持管理やイベント開催のための人材育成、イベント運営等に係る経費に対する補助を行った。</p> <p>[プロジェクトマネジメント体制強化] 「前原・横渚海岸周辺の魅力づくり計画」を推進するにあたり、フィッシャリーナ鴨川後背地の運用にかかる試行事業運営支援、施設整備にかかる設計支援、広報・マーケティング活動支援等を行うため、本計画のプロジェクトマネジメントに必要な支援業務を委託した。</p> <p>※令和3年度に繰越 [エリアマネジメントセンター周辺の飲食・休憩施設整備費] 海辺エリア拠点整備工事 30,591千円</p>	58,300,000	24,643,000	12,321,500	指標①	前原海水浴場及び周辺サーフポイントにおける入込客数(人)	187,000	人	R2	52,030	<p>D: 地方創生に効果がなかった。</p> <p>[所見] 効果が一過性であり、官民連携も不十分であった。</p>	<p>事業の継続</p> <p>[所見] 繰越事業を適切に実施し、エリアマネジメントセンター周辺の施設整備による拠点機能の充実を図るとともに、鴨川観光プラットフォーム株式会社との連携により新たな人の流れを作り、海辺の魅力づくりを通じた交流まちづくりを推進する。</p> <p>令和3年度予算額 30,591千円</p>
				指標②	海岸におけるレクリエーション参加者数(人)	2,800	人	R3.3	3,649		
				指標③	商店等として新たに活用された空き店舗数	15	件	R2.3	1		
				指標④	観光消費額	41,000	百万円	R2	21,326		

(令和元年度事業)

令和元年度事業実績	計画額 単位:円	実績額 単位:円	うち交付金額 単位:円	本事業における重要業績評価指標(KPI)				本事業終了後における実績値		実績値を踏まえた 事業の今後について	
				指標	指標値	単位	目標年月	実績値	事業効果 (A~Dの4段階)	今後の方針	
<p>[前原・横渚海岸周辺の魅力づくり推進委員会の開催] 前原・横渚海岸周辺の利活用に係る施策を総合的かつ計画的に推進するため、鴨川市商工会、鴨川市観光協会、鴨川市漁業協同組合、鴨川ライフセービングクラブ、城西国際大学観光学部及び関係行政機関等で構成する「前原・横渚海岸周辺の魅力づくり推進委員会」を設置し、会議を開催した。 ・委員数 22人 ・開催回数 8回</p> <p>[民間資金導入体制等構築] 民間事業者参入に向けた投資家及び専門家へのヒアリング及びイベント開催、コワーキングスペース試運用などによる事業展開の有効性の検証を行った。 実施にあたっては、支援業務を委託</p> <p>[空き店舗等の情報提供及びチャレンジショップの開設支援] 鴨川市チャレンジショップ開設支援補助金を創設し、前原横渚海岸周辺エリアにある空き店舗等を活用し、店舗等を開設する者に対して支援を行った。</p> <p>[外国人観光客獲得に向けた調査事業] 外国人観光客獲得に向け、効果的な誘客を図るために必要な調査、分析を行った。</p> <p>[DMO候補法人運営強化] 鴨川観光プラットフォーム株式会社に対し、運営強化のための人件費、人材育成費、PR費の補助を行った</p> <p>[プロジェクトマネジメント体制構築] 「前原・横渚海岸周辺の魅力づくり計画」を推進するにあたり、関連する付帯業務等の洗い出しや調査、フィッシャーナ鴨川後背地の活用方法の検討、ハード整備の設計支援、マーケティング活動を行うための、プロジェクトマネジメントの支援業務を委託した。</p> <p>[〈仮称〉魅力体験広場整備費] 前原・横渚海岸における交流拠点の整備により、海辺の魅力を高めることで、人の賑わいの創出を図ることを目的として整備を行った。 整備内容//芝生広場(1,100㎡)/ホワイトサンドの砂場(300㎡)/園路(375㎡)/植栽一式/照明/屋外コンセント設備一式/散水設備一式</p>	106,111,000	91,190,892	45,595,446	指標①	前原海水浴場及び周辺サーフポイントにおける入込客数(人)	165,000	人	R1	76,993	C: 地方創生に効果があった。 [所見] 概ね計画どおりに事業を実施したが、台風等の影響もあり、いずれのKPIについても実績値は指標値を下回った。観光消費額の実績値は秋以降に公表の予定。	[所見] 計画を踏まえ、エリアマネジメントセンター周辺の施設整備による拠点機能の充実を図るとともに、鴨川観光プラットフォーム株式会社との連携により新たな人の流れを作り、海辺の魅力づくりを促進する。 令和2年度予算額 58,300千円
				指標②	海岸におけるレクリエーション参加者数(人)	1,800	人	R2.3	601		
				指標③	商店等として新たに活用された空き店舗数	10	件	R2.3	1		
				指標④	観光消費額	39,080	百万円	R1	30,449		

(平成30年度事業)

平成30年度事業実績	計画額 単位:円	実績額 単位:円	うち交付金額 単位:円	本事業における重要業績評価指標(KPI)				本事業終了後における実績値		実績値を踏まえた 事業の今後について	
				指標	指標値	単位	目標年月	実績値	事業効果 (A~Dの4段階)	今後の方針	
<p>[前原・横渚海岸周辺の魅力づくり推進委員会の開催] 前原・横渚海岸周辺の利活用に係る施策を総合的かつ計画的に推進するため、鴨川市商工会、鴨川市観光協会、鴨川市漁業協同組合、鴨川ライフセービングクラブ、城西国際大学観光学部及び関係行政機関等で構成する「前原・横渚海岸周辺の魅力づくり推進委員会」を設置し、会議を開催した。 ・委員数 22人 ・開催回数 8回</p> <p>[マリンスポーツ等を中心とした多様なレクリエーション機会の提供] 「手ぶらでサーフィン体験プログラム」、「ビーチボックス設置」、「海釣り&漁師の嫁料理教室」及び「ビーチヨガ」等のマリンスポーツ等のレクリエーション機会を試行的に提供した。また、様々な主体に参画いただくための仕組みづくりとして、ワークショップを開催により、担い手の育成を行った。 実施にあたっては、支援業務を委託</p> <p>[安全で安心な海水浴場の確保] 海岸清掃を実施した。 実施にあたっては、清掃業務を委託</p> <p>[民間参入業者の選定] 新たな拠点整備にあたり、民間事業者の参入に向けた条件整理を行ない、参入候補事業者のリストアップを図った。 実施にあたっては、支援業務を委託</p> <p>[プロジェクトマネジメント体制強化] 「前原・横渚海岸周辺の魅力づくり計画」を推進するにあたり、関連する付帯業務等の洗い出しや調査等を実施し、活用方法の検討を行うための、プロジェクトマネジメントの支援業務を委託した。</p> <p>[DMO候補法人運営強化] 鴨川観光プラットフォーム株式会社に対し、運営強化のための人件費、人材育成費、PR費の補助を行った</p>	66,043,000	61,572,274	30,786,137	指標①	前原海水浴場及び周辺サーフポイントにおける入込客数(人)	143,000	人	H30	101,744	C: 地方創生に効果があった。 [所見] 概ね計画通りに事業を実施した。いずれの実績値も指標値を下回ったが、海岸におけるレクリエーション参加者数は前年より大幅に増加した。観光消費額の実績値は秋以降に公表の予定。	[所見] 計画を踏まえた各種事業を着実に実施し、海岸周辺エリアの活性化に結び付けていく。また、総合戦略の基本目標である観光入込客数等の増加を引き続き図っていく。 令和元年度予算額 106,111千円
				指標②	海岸におけるレクリエーション参加者数(人)	800	人	H31.3	284		
				指標③	商店等として新たに活用された空き店舗数	5	件	H31.3	0		
				指標④	観光消費額	37,170	百万円	H30	30,322		

(平成29年度事業)

平成29年度事業実績	計画額 単位:円	実績額 単位:円	うち交付金額 単位:円	本事業における重要業績評価指標 (KPI)				本事業終了後における実績値		実績値を踏まえた事業の今後について	
				指標	指標値	単位	目標年月	実績値	事業効果 (A~Dの4段階)	今後の方針	
<p>[前原・横渚海岸周辺の魅力づくり推進委員会の設置、開催] 前原・横渚海岸周辺の利活用に係る施策を総合的かつ計画的に推進するため、鴨川市商工会、鴨川市観光協会、鴨川市漁業協同組合、鴨川ライフセービングクラブ、城西国際大学観光学部及び関係行政機関等で構成する「前原・横渚海岸周辺の魅力づくり推進委員会」を設置し、会議を開催した。 ・委員数 22人 ・開催回数 3回</p> <p>[拠点整備方針の具現化及びエリアマネジメント体制の構築] ①観光施策の企画・広報等を統一的に実施し、前原・横渚海岸周辺の魅力づくりに関する計画における拠点整備方針の具体化や全域の活性化を効果的に推進するため、その事業推進主体として役割が期待される合同会社鴨川市観光プラットフォーム(現在は、鴨川観光プラットフォーム株式会社)について、力強い事業推進と持続可能な運営を実現できる体制を構築した。 実施にあたっては、支援業務を委託 ②前原・横渚海岸周辺の魅力づくりに関する計画の推進により鴨川市全域の活性化を実現するため、試行的な取り組みや各種アンケート結果及び観光戦略を総合的に検証した。 実施にあたっては、検討等業務を委託</p> <p>[海辺における交流拠点空間整備に係る実証実験事業(コンテナハウス実証実験事業)] 観光期間の長期化及び観光客の滞在時間の長時間化による宿泊客の増加を図るため、グランピングが観光資源における新たな切り口となるかの実証実験を行い、その活用を検討した。 実施にあたっては、コンテナハウス等購入設置業務を委託</p> <p>[安全で安心な海水浴場の確保] ①海岸清掃を実施した。 ②前原海水浴場監視所を整備した。</p> <p>[空き店舗等物件情報の収集・整理] 新たに生じる人の流れに対応した商店等の立地を促進するため、貸出等が可能な空き店舗情報の収集及び整理を行った。 実施にあたっては、空き店舗等の物件調査業務を委託</p> <p>[DMO候補法人運営強化補助] 鴨川観光プラットフォーム株式会社に対し、運営強化のための人件費、人材育成費、PR費、窓口改修費の補助を行った</p>	84,513,000	81,887,184	40,943,592	指標①	前原海水浴場及び周辺サーフポイントにおける入込客数(人)	132,000	人	H29	111,022	<p>C: 地方創生に効果があった。</p> <p>[所見] 実績値と指標値に乖離あるものの、計画を踏まえた事業については概ね予定通り実施した。</p>	<p>事業の継続</p> <p>[所見] 計画を踏まえた各種事業を着実に実施し、指標値と実績値の乖離を改善していく。また、総合戦略の基本目標である観光入込客数等の増加を引き続き図っていく。</p> <p>30年度予算額 98,434千円</p>
				指標②	海岸におけるレクリエーション参加者数(人)	300	人	H30.3	33		
				指標③	商店等として新たに活用された空き店舗数	0	件	H30.3	0		
				指標④	観光消費額	32,050	百万円	H29	32,341		

(平成28年度事業)

平成28年度事業実績	計画額 単位:円	実績額 単位:円	うち交付金額 単位:円	本事業における重要業績評価指標 (KPI)				本事業終了後における実績値		実績値を踏まえた事業の今後について	
				指標	指標値	単位	目標年月	実績値	事業効果 (A~Dの4段階)	今後の方針	
<p>[前原・横渚海岸周辺利活用計画の策定及び広報活動の実施] 前原・横渚海岸を核にフィッシャリーナからプロムナードを経て、市民会館、市営プール、東条海岸に至るまでの一帯の利活用について、従来型の観光だけではなく、健康づくりなどの分野で新たな交流を創出し、中心市街地との回遊性を高めるなど、地域が一体となって市内外の多様な交流を促進する方策について検討し、利活用に関する計画を平成29年2月に策定。これと併せ、シンポジウム等を実施 策定等にあたっては、コンサルティング業務を委託</p> <p>・市民向けシンポジウム 平成28年12月17日 参加者102名 ・学生シンポジウム 平成28年12月18日 参加者36名(市内大学生及び高校生、市職員等)</p> <p>※計画の検討にあたり、鴨川市商工会、鴨川市観光協会、鴨川市漁業協同組合、鴨川ライフセービングクラブ、城西国際大学観光学部及び関係行政機関等で構成する「前原・横渚海岸周辺の魅力づくり検討委員会」を設置・開催 ・委員数 18名 ・開催回数 6回</p>	9,800,000	9,720,000	4,860,000	指標①	前原海水浴場及び周辺サーフポイントにおける入込客数(人)	121,000	人	H28	86,330	<p>B: 地方創生に相当程度効果があった。</p> <p>[所見] 指標値は事業開始前の数値(110,000人)から減少しているが、計画を策定したことで、総合戦略の基本目標である定観光入込客数等の増加等に向けた取組みの基盤が整備された。</p>	<p>追加等更に発展させる</p> <p>[所見] 計画を踏まえ、コンテナショップ等を活用したチャレンジショップの開設支援を盛り込むとともに、日本版DMO候補法人として登録された合同会社鴨川市観光プラットフォームを観光地域づくりやコンテンツ提供の主体と想定し、エリアマネジメント体制の構築や運営強化、さらには外国人観光客獲得に向けた取組みなどを追加する。</p> <p>29年度予算額 100,513千円</p>
				指標②	海岸におけるレクリエーション参加者数(人)	0	人	H29.3	0		
				指標③	商店等として新たに活用された空き店舗数	0	件	H29.3	0		